

事務事業名	豊保育所保育活動費		所属部局	保健福祉部		単位番号	5161													
			所属課室	豊保育所		課長名	浅利澄子													
	☐ 実施計画事業		所属担当	豊保育所		担当者名	浅利澄子													
基本政策	基本計画	17	快速で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目									
政策	計画体系	28	社会福祉の充実	事業区分	01	一般	0	3	0	2	0	4	1	3	0	0	6			
施策			児童福祉の充実		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業														
					☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業														
					☒ 市の制度による義務的事業	☐ その他の事業														
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 平成15 年度)			法令根拠	児童福祉法・保育指針・南アルプス市立保育所条例・南アルプス保育の実施に関する条例															
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)																			
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 本事務事業は昭和28年に設置され、平成15年に全面改築された本保育所施設の適正な運営活動のための事業である。また、児童福祉の充実のため適正な保育の活動を実施する事業である。その内容は、嘱託医報償・研修旅費・保育教材消耗品費・記念アルバム・給食賄費・各種研修経費等である。保育の充実や各種サービスの向上を図り、保育の質の向上に努める。家庭における保育を支援し、一時的に保育が必要となった児童を預かる一時保育、子育てに悩んでいる人の育児相談などの子育て支援事業の経費				事業費の主な内訳 (22年度)															
					項目(細節)				金額(千円)				項目(細節)				金額(千円)			
					報償費				235				負担金補助及び交				44			
					旅費				90											
					需用費				13,633											
					役務費				438											
					使用料及び賃借料				10				計				14,450			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	保育及び子育て支援を行い安心して子育てができる環境づくりを行った。
23年度活動予定	保育及び子育て支援を行い安心して子育てができる環境づくりを行う。
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
入所児童及びその保護者 保育所職員	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
児童の最善の利益を目指した保育の役割と機能を充分果たしていく	

事務事業名	豊保育所保育活動費	所属部	保健福祉部	所属課	豊保育所
-------	-----------	-----	-------	-----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている 【理由↓】
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である 【理由↓】 本保育所は市(公)立という性格上、本事務事業に係る必要な経費について税金の投入は当然であり、他にゆだねることは不可能である。
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である 【理由↓】 保護者のニーズはさまざまであり、安心で安全な保育所を目指している。また小学校に入学するまでに人とのかわりや基礎を学び、将来に結びつけるために必要不可欠である。
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 保護者のニーズに対応し保育所運営を実施している。また今後は企業の就業時間や曜日に合わせて土日の保育を実施する方向であれば支障が出てくると思われる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 保育環境を休止・廃止はできない。それだけでなく土日勤務が生じてくる。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 保育環境を休止・廃止はできない。それだけでなく土日勤務が生じてくる。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 本事務事業は保育事業のために保育教材や保育消耗品、賄材料である。適正なコストで運営しているため削減できない。
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 本事業にかかる職員は9名と臨時職員16名(別に5時間パート3名・代替5名)により人事体制を構築している。
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 児童及び保護者が受益者である。適正な基準により保育料の徴収を行っている。